

2023年2月1日（水）

『 国際奉仕活動について 』

国際奉仕委員会 委員長 古野登喜夫

委員長の大役をいただきましたが何から手を付けたらいいかわからず大変よりました。ポリオ撲滅のための寄付、留学生の支援まではわかりましたがコロナの中何をしたらいいのかわからず、自分なりに調べてみました。

＜国際奉仕委員会の役割＞

ロータリークラブにおける国際奉仕は、国際間の理解、親善、平和を推進するために会員が行うすべての活動を意味します。これらの活動は書物を読むことや通信、さらには他国の人を助けることを目的とするクラブの活動を通じて、他国の人々とその文化や習慣、功績、願い問題に対する認識を培うことによって行われます。

活動方針

1) 方針

個々のクラブの国際奉仕活動を推奨し、より多くのクラブが国際奉仕活動に参加できるように推進します。

目的とするキーワードは次の3つです。

- 1, 複数（複数年度・複数クラブ）
- 2, 継続（プロジェクトの継続）
- 3, 共同（国内、海外のクラブや団体との共同事業）

2) 実行計画

- 1, 各クラブの国際奉仕活動及び合同プロジェクトの現状を把握し、随時情報をアップデートし共有化を図ります。
- 2, 合同プロジェクト参加へのコーディネーターの役割を担います。
- 3, ロータリー財団補助金活用の助言を行い事業化しやすい環境づくりのお手伝いをします。
- 4, 2750 地区の仲間である（PBG）の現状を把握し、情報提供を通じて、PBG に対する支援を推進してまいります。支援手段については財団補助金の利用等も積極的に進めます。

国際奉仕とはどんなことをなすべきかを考えました。日本は戦後 78 年、まがりなりにも平和が保たれていますが、ウクライナとロシア、アフガニスタン、中国内ウイグル自治区、イスラエル、ガザ地区など、様々な困難に直面している人々がいます。先日もデヴィ夫人がウクライナに支援物資を持って訪問している映像が流れていました。保育事業に携わる私としては、幼い子どもたちがどんなに辛い思いをしているか、ほんとうに心が痛みます。ロータリアンとして皆さんのお知恵を国際奉仕について考えていきたいと思えます。

そこで、中村哲医師がアフガニスタンで銃弾に倒れたことを思い出します。2019 年 12 月 4 日のことです。長きにわたりアフガニスタン、パキスタンのために尽くしても、心ない人に殺されるという痛ましい事件。真相は身代金目的の誘拐事件だったようです。世界は互いの憎しみ合いで行きつくところが分かりません。ただただ、世界が平和でありますようにと願うばかりです。